

## 幼稚園設置基準の一部を改正する省令について

文部科学省初等中等教育局幼児教育課

### 1. 改正の背景

- 幼稚園設置基準において、1 学級の幼児数は原則 35 人以下とされており、当該規定は、平成 7 年に 1 学級の幼児数を原則 40 人から 35 人に引き下げて以降、改正されていない。
- 近年、幼稚園において特別な配慮を必要とする幼児数は増加傾向にあり、こうした状況を踏まえれば、より一層、幼児一人一人の置かれた状況や発達特性等に応じ、行き届いた教育を推進するための環境整備が必要である。
- 特に、保育所における職員配置の最低基準が昨年度 76 年ぶりに引き下げられたほか、公立小学校についても令和 3 年に全学年の学級編制の標準を引き下げる改正が約 40 年ぶりに行われるなど、この数年の間で幼児を取り巻く教育・保育施設における学級編制や職員配置に関する基準の改善も図られているところである。
- こうした状況を踏まえ、幼稚園における学級編制の基準の改正を行う。
- なお、幼稚園における学級規模は徐々に縮小してきており、令和 6 年 5 月 1 日時点では、幼稚園における 1 学級の幼児数が 30 人以下の割合は 95.7% となっている。

### 2. 改正の内容

- 学級編制の基準を、原則 35 人以下から原則 30 人以下に引き下げる。
- 施行期日は令和 8 年 4 月 1 日とし、令和 14 年 3 月 31 日までは従前によることができるとする経過措置を設けることとする。